

あ げ お 議会 だより

あなたにほんきをあくるまち



上尾市

主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査、討論	3～4ページ
提出議案・請願とその結果	6ページ
各委員会の活動報告	7～8ページ
市政に対する一般質問	9～15ページ
委員会活動	16ページ



短冊に願いを込めて

7月5日、市内保育所では七夕に向け、ササの飾り付けが行われました。折り紙で作った色とりどりの七夕飾りの中には、「カブトムシがたくさんとれますように」「自転車を補助輪なしで乗れますように」など、ほほ笑ましい願い事が書かれた短冊も。

子どもたちの願いが天に届くと良いですね。

第186号
平成30年(2018)
8月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up

平成30年6月定例会 審議された主な議案

6月定例会で審議した議案は、市長提出議案および諮問が13件、議員提出議案2件、委員会提出議案1件の計16件で、このうち15件を原案のとおり可決・承認・同意・異議なき旨答申し、1件を否決しました。

議案第46号 平成30年度上尾市一般会計補正予算（第1号）

平成30年度上尾市一般会計補正予算を可決

歳入歳出補正額 **5914万3000円**

○社会福祉施設の整備に要する経費の一部を補助

障害者の短期入所を併設する共同生活住居を整備する「社会福祉法人上尾あゆみ会」に対し、整備に要する経費の一部を補助

○中分地内の排水路改修工事を追加実施

中分地内の排水路について、沈下により排水機能が低下していることから、平成28年度より改修工事を実施している。この改修工事に対する県補助金について、当初見込みを上回る内示を受けたことから、改修工事を追加実施

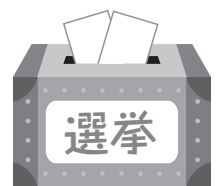


工事予定の中分地内の排水路

議案第47号 市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市議会議員選挙の選挙運動用ビラを市が負担

公職選挙法の改正を踏まえ、市議会議員の選挙において選挙運動のために使用するビラの作成費用を市が負担するもの。市長の選挙は平成19年から認められていたが、今回の法改正により市議会議員も同様の取り扱いとなった



本会議 6月25日 委員報告、討論、採決、議員提出議案および委員会提出議案の上程、採決、閉会	本会議 6月14・15・18・19日 一般質問	委員会 6月12日 文教経済・健康福祉常任委員会	委員会 6月11日 総務・都市整備消防常任委員会	本会議 6月8日 提出議案に対する質疑、委員会付託	本会議 6月5日 開会、市長提出議案の上程および説明	6月定例会の動き
--	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-----------------

※その他の議案名や議決結果については、6ページ「平成30年6月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

条例改正 市たばこ税の税率を段階的に引き上げ

〈メモ〉地方税法の改正に伴い、市たばこ税の税率を段階的に引き上げるもの。

委員 市たばこ税の増額による収入予測はどの程度を見込んでいるのか。

答 不確定要素も多くあるが、税率の引き上げが終了する平成33年度の税収予測は、平成30年度の調定額をベースに試算すると、約2億円の増収を見込んでいる。

委員 この試算では、増税によるたばこ離れは勘案されているか。

答 たばこの売上本数は減少傾向にあるが、試算では、たばこの売上本数の増減は勘案していない。不確定要素として、たばこ離れの

影響はあると考えている。委員 たばこ税の減収傾向に対する対策は。

答 全国のたばこの売上本数は平成8年度をピークとして徐々に減少しているが、それを補ってんするようにより税制改正が数回行われている。結果として、税収としては横ばいとなっている。

平成33年度以降のたばこ税は減収傾向に転じていくと考えているが、過去の税制改正の経緯から考えると、今後も改正があると想定される。

【市たばこ税の税率引き上げスケジュール】

時期	市たばこ税	増税分
H30.9.30まで	5262円	—
H30.10.1～ H32.9.30	5692円	430円
H32.10.1～ H33.9.30	6122円	430円
H33.10.1以降	6552円	430円

※金額は1000本当たりのものです。

都市整備消防常任委員会

議案第46号 平成30年度上尾市一般会計補正予算（第1号）については、特に質疑・討論などはなく、

採決の結果、全会一致で可決しました。

文教経済常任委員会

議案第46号 平成30年度上尾市一般会計補正予算（第1号）および議案第49号 上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、特に質疑・討論などはなく、採決の結果、いずれも全会一致で可決しました。

健康福祉常任委員会

条例改正 家庭的保育事業等の要件が緩和

〈メモ〉厚生労働省令の改正に伴い、家庭的保育事業等に関する代替保育の提供に係る連携施設の拡大や、自宅で保育を提供する家庭的保育事業において食事の外部搬入を可能とする要件の緩和などが図られるもの。

委員 家庭的保育事業では、調理設備の確保が困難であるため、自園調理を行えない場合があるとのことだが、その場合、食事の提供はどのようにされるのか。

答 連携施設や同一または関連法人が運営する小規模保育事業などからの外部搬入により提供される。委員 今回の改正により自園調理という要件が緩和されるというところか。

答 自園調理が原則ではあるが、居宅で保育を提供する家庭的保育事業のみ要件が緩和された。なお、同じ法人が行っている小規模保育事業所では、従来の制度でも外部搬入は認められていた。

委員 食事の外部搬入について、市が認める条件、基準、ガイドラインなどは設けられているのか。

答 既に保育所や認定こども園から調理業務を受託しており、アレルギーへの対応や年齢、発達の段階、健康状態に応じた食事の提供などができる事業者を考えている。

市長提出議案に対する反対討論

要旨

上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

共産党 食事の外部搬入を可能とする施設の要件緩和については、ノロウイルスなど感染症の拡大が心配される。自園調理は、できたてのものを子どもの体調に応じて

提供でき、食育を通した子どもの発達支援ができる。家庭的保育者が居宅で保育を実施するために台所の整備など、自己資金を投じるなどの課題も多いことは認識しているが、要件を緩和することによって、感染症の拡大などの懸念が払拭できないため、反対する。

請願に対する賛成討論

取組

特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める意見書の提出を求める請願

共産党 ことし2月の埼玉県議会で、特別養護老人ホームの新設凍結を求める附帯決議が自民党県議らの賛成多数で可決となり、今年度特別養護老人ホームの整備が進まない事態となっている。上尾市においても現在待機者が200人を超えている。特別養護老人ホームの整備の早期開始が求められているため、賛成する。

請願に対する反対討論

取組

特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める意見書の提出を求める請願
政策フォーラム 附帯決議は県議

会に報告を求める事項を列挙しており、閉会中の継続審査事項となっている。県議会に相応の報告があれば予算は執行されるものであり、新規募集を凍結など不正確な内容が散見される。趣旨にはおおむね賛同するが、同内容の意見書を上尾市議会として提出することは適当ではないと考え反対する。

議員提出議案に対する反対討論

取組

自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書

公明党 国は平成32年4月から会計年度任用職員制度に一本化するための法整備を行った。非正規職員の制度を統一させていこうとしている中で、常勤職員を中心とした公務運営の原則を堅持することを求めており、逆行している。公明党も非常勤やパートの方々の処遇が改善されることは強く求めるものだが、この意見書は、処遇改善を求めるものでありながら、常勤職員を中心とした公務運営を原則とし、パートタイムの働き方を望んでいる方への配慮に欠けている。全ての職員を常勤とすること、財政コストの面から非常に厳しいことから反対する。

全員協議会を開催

6月1日、「障害福祉サービス事業者の指定取消処分による市民への影響について」を協議事項とし、全員協議会が開催されました。

執行部から資料に基づく説明を受けた後、議員から「利用者からの問い合わせの件数とその内容」「偽造された協力医療機関協定書と領収書の内容」「当該事業所に対する給付費の総額と返還請求を行うか」「障害福祉サービス事業者指定に関する県や市のチェック体制」「利用者の地区別人数および事業所の役員構成」「利用者へのフォロー体制」などに関する質疑応答・意見などが交わされました。

採択された請願

平成30年6月定例会において、次の2件の請願が採択されました。

拡大する請願

代表者／特定非営利活動法人なごみ代表理事／神田和彦氏

都市再生機構法25条4項の規定に基づき「家賃の減免」の実施、並びに居住者合意の「団地別整備方針書」策定に関する意見書提出を求める請願

代表／尾山台団地自治会

会長／尾上道雄氏 他3965人

請願・陳情の提出方法
請願や陳情を市議会に提出する場合は、次の要領で作成し、あ

て名を市議会議長として議会事務局へ提出してください。

- ① 請願の件名／「〇〇に関する請願」など
- ② 要旨と理由／内容は簡単明瞭にし、道路や側溝など場所に関するものは、略図を添える
- ③ 請願者の住所の記入および署名または記名押印／多数の場合は必ず代表者を決める
- ④ 紹介議員の署名または記名押印／請願は1人以上の議員の紹介が必要となり、紹介議員の署名または記名押印を受ける

※陳情の場合も要領は同じですが、紹介議員は必要ありません。

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、定例会開会の6日前までに提出された請願は、その定例会で審査します。

人事案件に同意

■固定資産評価員に加藤孝志氏
かとうたかし

固定資産評価員・坂井良昭氏から平成30年6月30日限りで辞職したい旨の申し出を受けたため、後任として加藤孝志氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■固定資産評価審査委員会委員に伊澤愛子氏
いざわあいこ

固定資産評価審査委員会委員・伊澤愛子氏の任期は平成30年7月6日で満了となるため、同氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■人権擁護委員に小川久雄氏・村田眞司氏
おがわひさお
むらたしんじ

人権擁護委員・小川久雄氏、村田眞司氏の任期は平成30年9月30日で満了となるため、両氏を再び人権擁護委員の候補者として推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

委員会の会議の傍聴 自由公開制へ

■委員会条例の改正

委員会の会議の傍聴に関し、委員長の許可制を廃止し、自由公開制とする上尾市議会委員会条例の一部改正案が6月25日の本会議において、議会改革特別委員会から委員会提出議案として上程され、全会一致で可決されました。

この改正条例は、6月29日から施行されました。従来、委員会の会議を傍聴する場合は、委員長の許可を得なければならぬとされていましたが、今回の改正により、こうした許可は不要となります。なお、住所、氏名を傍聴受付簿に記入する傍聴手続きに変更はありません。

■委員会傍聴規程の制定

委員会の傍聴に関するルールを定めるため、委員会傍聴規程を新たに制定しました。

■本会議や委員会の傍聴

本会議や委員会は、原則として自由に傍聴することができます。委員会を傍聴する場合は、市役所議会棟4階の議会事務局へ、本会議を傍聴する場合は、市役所議会棟5階の傍聴ロビーへお越しください。委員会や本会議の日程など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。ご質問は、議会事務局へお問い合わせください。

他市からの行政視察

4月24日
埼玉県熊谷市議会
「議会改革について」

7月6日
青森県青森市議会
「上尾駅東口ペデストリアンデッキ整備について」

あげお子ども議会

日時：8月2日(木)13時15分～
※当日の内容は、市ホームページからご覧いただけます。

上尾市子ども議会映像 [検索](#)

広報広聴課(☎775-4918)



昨年の様子

こんな活動もしています

5月19日、上尾丸山公園で上尾市、上尾市議会動物と共生する社会を推進する議員連盟(略称:動物議連)、(公財)上尾市地域振興公社の共催で、「生き物ふれあい教室」が開催されました。この教室は、子どもたちがカブトムシの飼育や動物とのふれあいを通して、命の尊さについて学ぶことを目的として開催しています。カブトムシの幼虫掘りや、獣医師による動物の目の見え方や消化管の違いの解説など企画にも工夫を凝らしています。動物議連は、命を大切に思う心を育ててもらえるよう、積極的に活動しています。



カブトムシの飼育ケースづくり

平成30年6月定例会提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案（13件）

- 議案第46号 平成30年度上尾市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第47号 市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第48号 上尾市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第49号 上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第50号 上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第51号 上尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第52号 上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第53号 専決処分の承認を求めることについて【上尾市税条例の一部を改正する条例】
- 議案第54号 専決処分の承認を求めることについて【上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】
- 議案第55号 固定資産評価員の選任について
- 議案第56号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

◎議員提出議案（2件）

- 議案第7号議案 自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書
- 議案第8号議案 都市再生機構法第25条第4項の規定に基づく「家賃の減免」の実施と居住者合意の「団地別整備方針書」策定を求める意見書

◎委員会提出議案（1件）

- 委第1号議案 上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

◎請願（3件）

- 請願第20号 学習支援事業の対象を小学生まで拡大する請願
- 請願第21号 都市再生機構法25条4項の規定に基づく「家賃の減免」の実施、並びに居住者合意の「団地別整備方針書」策定に関する意見書提出を求める請願
- 請願第22号 特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める意見書の提出を求める請願

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

※一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。
 ※○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。

議案(請願)番号	議決結果	新政クラブ										共産党				公明党				上尾政策フォーラム			無会派						
		尾花瑛仁	新道龍一	田中崇	斎藤哲雄	小川明仁	星野良行	大室尚	新井金作	渡辺綱一	嶋田一孝	小林守利	新藤孝子	平田通子	戸口佐一	秋山もえ	池田達生	糟谷珠紀	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	橋北富雄	海老原直矢	浦和三郎	井上茂	町田皇介	池野耕司	深山孝
議案第50号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	×	○	○	○	○	○	×	×
請願第22号	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×

永年勤続議員特別表彰

全国市議会議長会および埼玉県市議会議長会の各定期総会において、議員在職10年永年勤続議員として、井上茂議員、渡辺綱一議員、嶋田一孝議員、町田皇介議員、池野耕司議員（議席順、敬称略）が表彰されました。



井上 茂



渡辺 綱一



嶋田 一孝



町田 皇介



池野 耕司

※長沢純議員も表彰対象でしたが、辞退したため5人が表彰されました。

各委員会の活動報告

各委員会では、所管事務調査や、特定の案件の審査、行政視察などを行っています。今号ではそれぞれ一部抜粋して紹介します。

総務常任委員会

上尾市の公共施設マネジメント《5月9日》

【出席委員】小川明仁委員長、尾花瑛仁副委員長、平田通子委員、秋山もえ委員、大室尚委員、道下文男委員、池野耕司委員、深山孝委員

上尾市における公共建築物およびインフラの老朽化の進行や、更新にかかる改修費用など、市が今後直面する課題は多く想定され、公共施設マネジメントによる「質と量の最適化」が求められる。

これらの課題の解決のために策定された公共施設マネジメント計画について、市の担当者より説明がなされ、計画の体系やこれまでの取り組み、今後の実施方針などについて、活発な質疑が行われ、現状と課題の認識の共有化が図られた。

文教経済常任委員会

上尾市の農業の現状《5月16日》 市ノ川園芸直売所（上尾市須ヶ谷）

【出席委員】長沢純委員長、田中一崇副委員長、井上茂委員、戸口佐一委員、嶋田一孝委員、糟谷珠紀委員、橋北富雄委員

市ノ川園芸直売所はトマトが主力商品。新鮮さを売りにした直売所には、都内や遠方からも顧客が訪れている。農業のIT化を進めており、環境管理システムを導入して、過去のデータを分析し、欠点を克服することにより、生産性が向上している。11人で構成する「上尾市施設園芸研究所」では、大宮ゴルフ場や榎本牧場の落ち葉や麦わらなどを利用して、共同作業で堆肥を作るなど、生産段階における地産地消に取り組んでいる。後継者育成問題や耕作放棄地対策など、今後の市の農業政策の課題などについても活発に意見交換が交わされた。



直売所で販売されているトマト

健康福祉常任委員会

国民健康保険の県単位化《5月23日》

【出席委員】浦和三郎委員長、戸野部直乃副委員長、海老原直矢委員、新藤孝子委員、星野良行委員、新井金作委員、渡辺綱一委員

市町村の国民健康保険事業の財政課題などを解決するため、今年度から国民健康保険が都道府県単位で運営されることとなった。埼玉県が新たに財政運営の責任主体となった国民健康保険について、財政運営の仕組み、変更点、運営方針などについて執行部から説明を受け、質疑を行った。

都市整備消防常任委員会

井の頭池かいぼりによる自然再生の取り組み《5月8日》

井の頭恩賜公園（東京都武蔵野市御殿山）

【出席委員】 斎藤哲雄委員長、新道龍一副委員長、町田皇介委員、池田達生委員、小林守利委員、野本順一委員

井の頭恩賜公園では、平成29年5月の開園100周年に合わせ、自然豊かな井の頭池の姿を取り戻すため、かいぼりが複数回実施されている。井の頭池ではかいぼりにより池底を干し、水質改善や、外来種の駆除などが行われており、当日も池底が見えるほど透明度が高かった。一度のかいぼりでは外来種は全て駆除することはできなかったが、3回にわたり継続的に実施した結果、外来種が全体の約9%にまで減少したという。また、地域との合意形成の大切さについても説明を受け、平成31年度に予定されている上尾丸山公園の大池のかいぼりに向け、大いに参考になった。



井の頭池でのモニタリング調査

※かいぼり…池の水を排水、池底の土を日干しにし、清掃や外来種の駆除などを行うこと。水質改善や生態系の回復が期待できる。

議会改革特別委員会

予算特別（常任）委員会の設置《7月3日》 草加市・さいたま市

【出席委員】 星野良行委員長、尾花瑛仁副委員長、田中一崇委員、戸野部直乃委員、井上茂委員、秋山もえ委員、大室尚委員

予算特別（常任）委員会の設置は、全国的な動きもあり、上尾市でも検討課題となっている。草加市では特別委員会として、さいたま市では常任委員会として、既に予算審査の委員会が設置されており、各市議会における設置に至る経緯や委員構成、定例会のスケジュールなどについて説明を受けた。委員からは、特別委員会、常任委員会でのどのような差があるかや、委員会の構成メンバーの選出方法などの疑問が出され、今後の上尾市における予算委員会の設置に向けた貴重な検討材料となった。



草加市視察の様子

西貝塚環境センターの入札に係る調査特別委員会

事前通告された質問に対する回答《4月27日・第4回》《6月5日・第5回》

【主な内容】 条件付き一般競争入札における審査事項や、請負業者の選定等に関する審査の内容について

警察などに押収されていた書類の返却に伴い、執行部から追加資料の提出があった。その資料に基づき委員からの質疑が行われ、西貝塚環境センターや契約検査課から答弁がなされた。今後も調査を実行し、再発防止に向け検討を重ねていく。

一般質問

? **ここが問題**
そこが聞きたい!

6月定例会の一般質問は、6月14・15・18・19日の4日間行われ、20人の議員が市政全般68項目にわたって市当局の見解を求めました。また、4日間で227人の皆さんが議会を傍聴しました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(8月下旬公開)。

新図書館複合施設の 検討結果は



小林守利
(新政クラブ)

問 新図書館複合施設建設には、賛成の立場から推進・議決してきた。これまでの議決をどう捉えているか。

答 議会では慎重な審議・議決をいただいていた。議決は大変重く受け止めている。

問 富士市長は選挙公約で、新図書館複合施設建設計画の見直しを含めた検討をするとしているが、これまでの検討内容と判断結果について伺いたい。

答 庁内でのヒアリングによる不明点の解消、市図書館本館・分館、公民館図書室の巡回や他市図書館の視察などを行った。

また、現整備事業に対する賛否それぞれの

検討結果は

立場の団体から意見を伺うとともに、市の財政状況を踏まえた上で、新図書館を含む施設の今後の整備や維持・管理経費見込みなども熟慮した。

こうした検討を踏まえ、工事再開でも中止でもなく、現在の計画を見直したい。

図書館本館の位置は当面現在のままとし、事業予定地であった上平の土地は、市の公共施設マネジメントを踏まえ、図書館分館機能を含む複合施設として、市民の皆様にご満足いただける施設を、今後検討していきたい。

その他の質問

- 市民が楽しめる場所の確保
- 子どもたちの利用できるキャンプ場
- 交通安全対策

領家地区の雨水対策を



新井金作
(新政クラブ)

問 昨年10月に大雨をもたらした台風21号により、領家地区や領家工業団地では被害が発生した。上尾道路沿線では下り線の側道には水があふれ、隣の畑が水浸しになり、上り線の側道は水たまり状態で、マンホールから水があふれていた。開通して間もない上尾道路でなぜあのような被害が発生したのか。

答 上尾道路の雨水の排水先である江川の水位が上昇し、上尾道路の地下の貯留槽から排水ができず、民地に流れ込んだ。上尾道路内には、丸山都市下水路を流末とした貯留槽と、江川を流末とした貯留槽があるが、江川

を流末とした貯留槽は宮下樋管の排水能力が不足しており、雨水があふれた。

問 領家地区の住民が、道路を管理する大宮国道事務所へ出した境界ブロックのかさ上げ要望への対応は。また、宮下樋管の排水能力不足への対策は。

答 大宮国道事務所によると、今後、上尾道路と民地の境界ブロックをかさ上げる工事を行う予定とのことである。市としては、貯留槽の増設や集水ますの設置などの対策についても要望していく。

その他の質問

- 大石西部地区安全対策
- 丸山公園の整備
- 上尾道路西側の道路対策・荒川河川築堤・周辺整備
- 市の農業行政の今後

「あびっつとー」の運営に民間のアイデアを取り入れては



小川明仁
(新政クラブ)

問 情報・賑わい発信ステーション「あびっつとー」の認知度向上のための手法を、どのように考えているのか。

答 「あびっつとー」が広く認知されるためには、場所だけではなく、「あびっつとー」自体の認知度を高めていく必要がある。そのためには「広報あげお」や市ホームページで紹介していくことや、JR上尾駅や駅自由通路の利用者に対し、「あびっつとー」を効果的に知ってもらう手法などを今後検討していきたい。

問 「あびっつとー」の運営に関し、民間提案の手法、運営主体による自主事業の展開、費用対効果、独立採算制と

いう点で事業展開を考えてほしい。より幅広く運営のアイデアを募り、その中から比較検討を行っては。

答 「あびっつとー」は、市民との協働の理念の下で一定の成果を上げていると考えている。その一方で、さまざまな意見もあるため、新たな企画提案を募ることも視野に入れながら、まずは庁内で検討していきたい。



情報・賑わい発信ステーション「あびっつとー」

その他の質問

- 市の子育て支援策
- 口腔保健の推進と重要性

地域に愛され、利用者に愛される公園整備を目指して



田中一崇
(新政クラブ)

問 平成30年3月定例会で、(仮)戸崎東部公園パークゴルフ場の北側18ホールは整備を一旦凍結し、計画の見直しを含め検討する

ことが、公園整備の進捗よく状況は。

答 多目的広場や駐車場などの工事は7月中旬に完成予定である。管理棟工事はことしの12月中、子ども広場の工事は平成31年1月中旬に完成予定である。

問 鴨川側道の供用開始時期と、歩道用地の確保については。

答 鴨川側道は、公園の開設に合わせて供用開始予定である。歩道用地の確保は、聖学院大学との用地交渉を継続して行っている。

その他の質問

- 子どもの生活
- 消防
- 投票所

救急車を早急に増車し救急体制の強化を



星野良行
(新政クラブ)

問 今後、人口は徐々に減少する一方、高齢化はさらに進み、救急の需要もしばらくは増加する見込みである。救急車の整備指針と、市の救急車充足率は。

答 国が示す消防力の整備指針における救急車の必要基準台数は、人口10万人に対し5台で、以降おおむね5万人ごとに1台を加算する。本市の平成30年6月1日現在の人口に基づくと、基準数は8台、現有台数は6台であるため、救急車の充足率は75%となる。

問 救急車の増車についての見解は。

答 救急出動件数は年々増加しており、特に65歳以上の搬送人員は直近の5年間で約4割増加している。また、6台全ての救急車が出動中で、次の救急要請に対応できない状態に陥った回数は、平成27年は120回、平成28年は99回、平成29年は101回である。こうした状況を鑑み、救急車の増車は喫緊の課題と考える。関係部署と協議を行い、救急体制の強化に取り組んでいきたい。



高規格救急自動車

その他の質問

- 胃がん・肺がん検診
- シルバー人材センター
- 自転車の安全対策

授業における タブレットPCの活用を



戸野部直乃
(公明党
上尾市議員)

を共有、協議したりするなどして学習を深めていく授業が可能になっていく。

問 平成30年度予算において、平成31年4月までに全中学校へタブレットPC導入および無線LAN整備が掲げられ、全国トップクラスのICT環境が整備されることが決まった。この環境整備によって、今までは違う学びが期待されるが、具体的にどのようなことが可能になるか。

答 児童生徒が教師の話を聞いて学習するという授業から、児童生徒が自ら課題を発見し、主体的に学ぶ授業へと転換を図ることが可能となる。例えばタブレットPCを用いて自分の考えをグループや学級全体に発信したり、グループ内で意見

問 障がいがある児童生徒の家庭からも、タブレットPC使用の要望を聞くことがある。普通学級の通常授業において、発達障がい、弱視の児童生徒が個人所有のタブレットPCを使用することは認められているか。

答 市内小・中学校では、原則として通常授業で個人所有のタブレットPCを使用することは認められていない。

問 JR北上尾駅東口から上平方面に延びる緑丘南線については、第二産業道路予定地への早期延伸を切望している。上尾市都市計画マスタープラン2010には、当該道路の延伸が位置付けられているが、今後の延伸計画を伺いたい。

答 都市計画マスタープランにおいて、緑丘南線は第二産業道路まで延伸、接続する構想路線として位置付けている。この第二産業道路の整備状況は、県道上尾環状線の上尾運動公園入り口交差点まで整備が完了し、供用開始されている。現在はさらに上尾運動公園入り口交差点から県道上

その他の質問

- 防災の取り組み
- 食品ロス削減対策

上平地区の道路の延伸を 早期に進めて



深山 孝
(無会派)

尾蓮田線までの区間約900メートルを事業化し、一部工事を進めている。なお、北本県土整備事務所によると、現在施工している区間の完成が見えてきた段階で、上平方面への区間に速やかに着手できるよう検討しているとのことである。

問 新図書館複合施設建設は、市長から見直しの方向が示された。市民や地元住民への周知・説明方法は。

答 市民にはホームページや、「広報あげお」により周知し、地元区長や地権者の方々には計画見直しについての説明をしていく。

その他の質問

- 行財政改革

図書館建設を見直すならば、 市民が納得する代替案を



前島るり
(公明党
上尾市議員)

て世代が楽しめる空間づくりや、障がい者も利用しやすい施設づくりに配慮してほしい。また、青少年の健全な居場所の確保や、飲食・学習スペースなどを設け、あらゆる世代が利用できる滞在型の空間の充実を再度提案するが、見解は。

問 今後教育や生涯学習施設の充実が必要と考えるが、いかがか。

答 生涯学習の場の確保は重要と考える。事業予定地であった上平の土地には図書館分館機能を含む複合施設として整備する方向で幅広く検討していきたい。

その他の質問

- 乳がん検診とがんに対する意識啓発
- 見えない障がいのある人へのヘルプマークの配布と市民周知
- 市のPR・定住促進施策・シンクタンク機能

事故が起きる前に ホームドアの設置を



橋北 富雄
(公明党
上尾市議員)

問 近年、駅ホームからの転落事故などが多く起きている。そのような事故を防ぐには、周りの方々の配慮も大事だと思うが、やはりホームに何らかの物を設置すれば防げる事故が多いと感じている。京浜東北線では、全駅にホームドアの設置が行われると聞いています。事故が起きてからでは遅い。市ではこのような状況を踏まえ、ホームドアの設置についてどのように考えているのか。

答 市としても、駅ホームからの転落や電車との接触事故を防ぐための安全対策として、ホームドアの有効性は十分認識してい

る。しかし、JRからの回答では、ホームドアの設置については、利用者が10万人以上の駅から順次整備を行っていくとの方針に基づき、高崎線の路線ではその条件を満たす駅がないことから、現在のところ整備計画はないとのことである。

なお、ホームドアの設置に関しては、これまで富士市長を会長とする「上尾市鉄道輸送力増強推進協議会」や県内上尾市以北の高崎線沿線地域の自治体8市2町で構成される「高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会」の取り組みの中で、早期設置に向けた要望活動を実施してきたところである。

その他の質問

- 空き家対策
- 自転車の保険

太平中学校前の 危険な交差点の改善を



秋山 もえ
(日本共産党
上尾市議会議員)

問 太平中学校前の交差点は、交通事故が多発しており、見通しが悪く分かりづらい交差点である。子どもたちの通学路にもなっており、事故が非常に心配されるところである。この交差点における事故件数と、事故内容について伺いたい。

答 埼玉県警察本部の公表によると、平成27年から本年4月までの当該交差点における事故件数は、4件発生しているとのことである。事故内容を発生順に言うと、1件目が自動車と自転車、2件目が自動車と歩行者、3件目が自動車と自動車によるもので、いずれも軽傷の交通事故であ

その他の質問

- つくし学園の今後
- 国民健康保険の充実
- ニューシャトルの運賃・定期代の引き下げ



太平中学校前の交差点

問 この交差点は、拡幅工事などを行って見通しの良い道路形状などにしていく必要があると思うが、見解はいかがか。

答 改善の必要があると考えている。

原発に頼らない再生可能エネルギー の普及で安心できる生活環境を



戸口 佐一
(日本共産党
上尾市議会議員)

問 政府が全電源に占める原発の比率を引き上げようとしている中、市内小・中学校、保育所の放射線量検査を市で継続しており感謝するところであるが、検査にかかる職員人件費は、平成29年度だけでも572万円と聞く。この費用は原発再稼働を進める東京電力に請求すべきでは。

答 請求の実績はないが、県内の状況を見て検討する。

問 避難者は、避難区域の解除により住宅補助が無くなることを懸念しているが、対応は。

答 東電による家賃賠償が平成30年3月に終了したことに伴い、福島県が一定期間の家賃

などを助成する「避難市町村家賃等支援事業」を開始した。

問 太陽光発電システムの設置補助実績は。

答 住宅用の設置補助件数は過去7年間で1582件である。

問 市内小・中学校や公共施設などにおける太陽光発電の普及状況は。

答 富士見小・中央小・上尾中学校と公共施設7カ所である。

問 さいたま市では、全市立小・中学校、高校に太陽光発電と蓄電池が設置されている。本市ではなぜ設置できないのか。

答 技術的課題や費用対効果を考慮した結果、既存の小・中学校には設置しないこととした。

その他の質問

- 安心・安全なまちづくり

障害福祉サービスについて



新藤 孝子
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 障害者総合支援法第7条により障害者が65歳になると介護保険制度が優先され、介護認定申請を承諾して

答 障害福祉サービス利用者65歳を迎える約2カ月前に、ケースワーカーが地域包括支援センターなどへ介護保険サービスへの移行手続きを促し、連携を図っている。

問 国は、介護保険優先の原則は、状況に合わせて配慮することとしているが、市の対応は。

答 介護保険サービスで足りない場合は、障害福祉サービスで補うなど柔軟に対応する。

問 障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行によって、利用料負担が生じる人は何人か。平均自己負担額はどれくらいか。

答 平成29年3月時点で、介護保険サービスと併用している利用者は26人、自己負担額の平均は7044円である。

問 介護保険サービスを利用した場合の負担軽減制度はあるのか。

答 ことし4月から、特定の障害福祉サービスを5年以上利用している65歳以上の障害者で、一定の要件を満たす場合は、介護保険サービスへの自己負担額に対し高額障害福祉サービス等給付費が支給される。

その他の質問

- 原市沼周辺整備計画
- 保育サービス

東町学童保育所の 学校敷地内移転の見通しは



井上 茂
(上尾政策
フォーラム)

問 東町学童保育所には、特別支援児は何人登録されているか。また、特別支援児に対する通所時の付き添い支援などはあるのか。

答 特別支援児は5人の登録がある。なお、通所時の付き添いなどは行っていない。

問 東町学童前の道路はカーブしており見通しが悪い。危険性についての認識と対応は。

答 学童前の道路は交通量が多く、安全性に課題があると認識している。そのため、カーブミラーの設置や注意を促す路面標示などで対応している。

問 狭く危険な立地の施設に、5人の支援を必要とする子どもたち

がいる。学校敷地内への移転の見通しは。

答 東町学童は民有地の借地であり、1人当たりの専有面積も小さいことから、学校敷地内への移転は、喫緊の課題と認識している。

問 上尾市の今後の学童保育の課題は。

答 年々増加している放課後児童クラブの登録児童を確実に受け入れるため、適切な遊びや生活の場として必要な施設の面積を確保することと捉えている。



東町学童保育所

その他の質問

- 特別支援教育
- 市民の足の確保
- 公文書管理

子ども食堂の実態を把握し 充実した支援を



海老原 直矢
(上尾政策
フォーラム)

問 市では、子ども食堂について、どのような意義があると理解し、今後どのように対応していく予定か。

答 子ども食堂は、子どもが抱える課題や悩みを相談できる場所であり、地域の大人との交流の場につながるもので、有効な手立ての一つと考えている。今後の子どもの食堂の推移を見守っていききたい。

問 今後、市としても子ども食堂を認知していく中で、運営団体だけでなく、利用者や利用が見込まれる方々と、どのような連携が可能であるか検討する

ためには、まずは運営状況の実態を把握することが求められると思

うが、現状をどのように把握しているのか。

答 関係団体から収集した情報などにより、子ども食堂の開催日、開催場所や利用料金などを把握している。

問 市民の視点から考えると、運営形態や食事の提供内容など、より詳細な情報が求められると思う。国や県でも実態把握に努めているが、子ども食堂の現状と課題の把握のため、市としても詳細な調査や視察が求められると思うが、今後どのように実態の把握に努めていくのか。

答 昨年度は、幾つかの子ども食堂の視察を行った。今後も継続して視察を行い、実態把握に努めていきたい。

その他の質問

- 自然環境保護
- 子ども支援

使用済みオムツの持ち帰りを なくし保育所で処理を



浦和 三郎
(上尾政策フォーラム)

ているが、処分方法ま
では示されておらず、
各自自治体や施設での判
断に任されている。

問 子どもが使用した
紙オムツについて、市
内の私立保育所などで
は、既に多くの所が自
園で処分をしている
が、市立保育所におい
ての処分方法はどのよ
うになっているか。

答 保護者に持ち帰っ
てもらっている。なお、
その際に、便の状態で
説明が必要な児童がい
た場合には、説明をし
た上で渡している。

問 紙オムツの保管や
処分に関する国のガイ
ドラインはどのようにな
っているか。

答 厚生労働省が策定
した保育所における感
染症対策ガイドライン
に、オムツの交換場所
や使用済みオムツの保
管方法に関して示され

問 紙オムツを持ち帰
りにした時期と背景
は。

答 以前は、保護者の
自己負担による布オム
ツのレンタルで対応し
ていたが、紙オムツの
普及に伴い、平成12年
ごろから紙オムツとの
選択ができるようにな
った。そのころから紙
オムツについて持ち帰
りをお願いしている。

問 市立保育所で処分
することの問題点は。

答 数日分の保管場所
の確保や、常に保管場
所を清潔に保つ必要が
ある。また、処分費な
どの取り決めについて
も調整が必要となる。

その他の質問

- 街づくり
- 新図書館

部活動指導員を活用し 教員の負担軽減を



池野 耕司
(上尾政策フォーラム)

問 ことしの3月、ス
ポーツ庁は「運動部活
動の在り方に関する総
合的なガイドライン」
を策定し、過度の練習
への取り組み防止の一
助として、中学校運動
部の休養日を週2日以
上にするなどの指針を
示した。今後の市の対
応は。

答 今後、県から示さ
れる「運動部活動の在
り方に関する方針」を
参考に、今年度中に上
尾市教育委員会の方針
を策定する予定である。

問 部活動の外部指導
員制度が導入された背
景と配置状況は。

答 市では、部活動の
充実および活性化を図
るため、部活動指導員
配置事業を平成10年度

から実施している。今
年度は、全ての中学校
に対して総勢43名を剣
道部、ソフトテニス部、
吹奏楽部など、14種目
の部活動に配置してい
る。

問 教職員の部活動指
導に関する負担軽減に
向けた教育委員会の取
り組みは。

答 教育委員会では技
術面や指導面で顧問を
支援するため、部活動
指導員を配置してい
る。また、各学校に週
休日の活動は原則どち
らかを休みにするこ
と、平日に週1回の休
養日を設けること、平
日の活動時間は原則と
して2時間以内とする
ことを周知している。

その他の質問

- 室内50メートルプー
ルの誘致
- 公園の遊具設置状況
- 雨水対策

上尾の財産「瓦葺掛樋跡」の 保存・活用を



平田 通子
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 瓦葺掛樋跡は、平
成27年に市登録文化財
となったが、登録の意
義と目的は。

答 瓦葺掛樋は、江戸
時代中期の見沼代用水
の開削に伴い、綾瀬川
と見沼代用水が立体交
差できるよう綾瀬川の
上にかげられた構造物
である。明治41年から
昭和35年まで使用され
た煉瓦製の構造物は現
在も残っており、保存
活用のための措置が必
要と認められることか
ら登録した。

問 保存方法の検討と
価値を周知する説明板
の設置を求めるが見解
は。

答 所有者および管理
者と調整しながら適切
な保存・管理について

検討し、説明板も調整・
協議して設置する予定
である。

問 原市公民館の学習
グループが掛樋の模型
を造り、小学校で出前
授業をしている。市と
して支援していく必要
があると考えているが見解
は。

答 昨年度、4校の小
学校で出前授業が実施
された。学校、地域、
社会教育の連携を推進
し、児童生徒への普及
に努める。また、市民
の方には、歴史や文化
の理解を深めてもらう
ため、講座や現地見学
会を行うなど、掛樋跡
の活用を図っている。

その他の質問

- 子どもの貧困の連鎖
をなくすために
- 子どもたちの学ぶ環
境整備を
- 市民とともに非核・
平和行政推進を

大谷小学校、平方東小学校 通学路の安全対策を



池田達生
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 大谷小学校正門前通学路の安全対策について、大谷小学校長とPTA会長から、地元

区長会へ改善要望が出された。通学路の一方通行やスクールゾーンなどの交通規制に関する提案について、市の対応は。また、区長会をはじめ関連団体などと共同し改善に取り組むことは重要であると考ええるが、市の見解は。
答 交通規制に関する要望は、上尾警察署を通じて県公安委員会へ行うが、地域の合意や理解が必要であることから、事務区長や学校などで十分相談、協議の上、要望書を提出してほしい。通学路は生活道路でもあり、地域

全体で安全な環境づくりを行うことが児童の安全につながるかと考える。学校やPTA、地域住民、関係者が連携して取り組むことが重要と認識している。

問 地頭方地区から平方東小学校へ通学する児童は今後も増える見込みである。県道の地頭方交差点から南に向かう通学路は歩道幅が狭く、道路が荒れていて危険である。市の実態把握と対策は。

答 教育委員会でも視察を行い、道路幅員が狭く、外側線が欠け、道路面が劣化しているなどの状況を確認した。交通防犯課、道路課、学校保健課による通学路安全対策調整会議で検討する。

その他の質問
(仮)戸崎東部公園
市水道事業

誰もが安心して利用できる 公園トイレに



糟谷珠紀
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 市内の公園に設置されているトイレの数と割合を伺う。

答 市内168カ所の公園のうち、トイレが設置されているのは27カ所で、その割合は全体の約16%である。

問 男女兼用トイレを設置している公園は。

答 14カ所である。

問 鴨川中央公園をほぼ毎日利用している方々から、トイレの改善を求める声が寄せられた。利用者の皆さんは署名に取り組み、先日、みどり公園課に593筆の署名と要望書を届けた。要望内容は「男女別のトイレ」、「段差をなくしバリアフリー化に」、「洋式トイレを増やしてほしい」

というものである。同じ規模のゆりが丘公園も同様の要望がある。トイレの改修計画を策定する必要があると考えるが、見解は。
答 現在トイレの改修計画を策定する予定はないが、適切に維持管理を行いながら、更新についても検討していきたい。



男性用と女性用が分けられていないトイレ

その他の質問

●ハラスメント防止の取り組みと男女共同参画社会の推進のために

●図書館行政の充実を求めて

平方スポーツ広場を市民に 愛され利用しやすい施設へ



嶋田一孝
(新政クラブ)

問 平方スポーツ広場は、身近なスポーツ公園として機能の充実を図るとともに、西側の拠点と位置付け、施設の改修を進めるとされている。スポーツ施設は、少子高齢化の時代、健康づくり、安らぎ、憩い、市民に愛され利用しやすい施設でなければならず、そのことはシティセールスには欠かすことのできない絶対条件である。平方スポーツ広場を今後、どのような施設にすべきと考えているのか。

答 平方スポーツ広場を軸としたスポーツ施設の充実、市長の掲げているスローガン「上尾を変える」ということを進めていく上で重要な事業と認識している。平方スポーツ広場は、市民にとってスポーツ活動、健康づくりをはじめ、多種多様なスポーツ・レクリエーション活動の重要な場所であると認識しており、屋外スポーツの拠点として、なくてはならない施設とされている。第2期上尾市教育振興基本計画にある「スポーツ・レクリエーション事業の充実」「スポーツ施設の整備充実」および上尾市スポーツ基本計画の実施目標に掲げている利用者のニーズに対応できるように、多目的活動が可能なスポーツ施設を目指し、用地買収を進めることも含め、整備計画を考えていきたい。

その他の質問

●上尾花火大会



9月定例会日程(案)

- 8月29日 開会
- 9月3日 質疑、委員会付託
- 4日 委員会
(総務、都市整備消防)
- 5日 委員会
(文教経済、健康福祉)
- 7日、10～13日
一般質問
- 19日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 H30.4.16 ~ H30.7.15



▲総務常任委員会の審査の様子



▲健康福祉常任委員会の審査の様子

***9月定例会は、8月29日(水)に開会予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、8月23日(木)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 新道 龍一
- 副委員長 戸野部直乃
- 委員 尾花 瑛仁
- 委員 田中 一崇
- 委員 海老原直矢
- 委員 新藤 孝子
- 委員 小川 明仁
- 委員 戸口 佐一

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	5/9	・所管事務調査「上尾市の公共施設マネジメントについて」
	6/11	・6月定例会提出議案4件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	5/16	・所管事務調査「上尾市の農業の現状について」
	6/12	・6月定例会提出議案2件を審査
都市整備消防常任委員会	5/8	・所管事務調査「井の頭池 かいぼりによる自然再生の取り組みについて」
	6/11	・6月定例会提出議案1件を審査
健康福祉常任委員会	5/23	・所管事務調査「国民健康保険の県単位化について」
	6/12	・6月定例会提出議案5件、請願2件を審査
議会運営委員会	5/31～6/25	・議会運営について協議(協議回数9回)
議会改革特別委員会	5/18・24	・特別委員会の設置・委員会の公開について
西貝塚環境センターの入札に係る調査特別委員会	4/27・6/5	・事前通告された質問について(回答)
議会報編集委員会	4/17	・「あげお議会だよりNo.185」の内容について協議
	6/19・25	・「あげお議会だよりNo.186」の内容について協議

— 意見書 1 件を原案可決 —

6月定例会最終日の6月25日、議員提出議案として意見書2件を提出し、1件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆都市再生機構法第25条第4項の規定に基づく「家賃の減免」の実施と居住者合意の「団地別整備方針書」策定を求める意見書

提出先⇒内閣府総理大臣 国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長
独立行政法人都市再生機構理事長